

# 早稲田大学インクルーシブ教育学会ニュースレター

2021 年度 N o.7

## 2021 年度第6回研修会

### 「LGBTQ 児童・生徒の困りごとと支援」

講師：渡邊 歩氏

( 早稲田大学GSセンター職員 )

日時 3月6日(日) 9時~12時

形式 オンライン (Zoom)

本研修会は「LGBTQ」をテーマとして、LGBTQをめぐる基礎知識と、当事者の困難や困りごとの理解、学校場面での支援について学ぶことを目的として行われました。

講師の渡邊歩先生は、早稲田大学GS (Gender & Sexuality) センターの職員として、LGBTQ当事者学生の支援や合理的配慮の提供に日々向き合っているらしいです。研修会では、具体事例を豊富に盛り込みながら、以下の流れで進められました。

#### 基礎知識

見かけでは分かりにくいLGBTQについて、以下の基礎知識を押さえて頂きました。

- ・LGBTQ …日本の統計では、およそ3.3%~10%
- ・性の構成要素…①性自認 ②生物学的性 ③性表現 ④性的指向  
⑤行政上の性別 ⑥性別役割
- ・多様な性 …SOGI (性的指向・性自認) という捉え方

#### 当事者のライフヒストリー

TVで紹介された動画などを通じて、当事者や周囲の気持ちや苦勞を具体的に紹介して頂きました。

#### 学校現場におけるLGBTQ支援

##### ①データから見るLGBTQ当事者

抱負なデータをもとにして、学校現場における支援の実際を様々な角度から紹介して頂きました。

##### ②学校におけるLGBTQの困りごと

ユース (10代~20代後半) の悩みでは、カミングアウト・恋愛の悩み、トランスジェンダー特有の悩み、自己理解・自己受容の悩みのそれぞれをわかりやすく伝えて頂きました。

##### ③LGBTQ児童・生徒の支援

学校現場でかかわる基本姿勢の解説の後、以下を教えてくださいました。

- ・個別支援…心理的支援のポイントと合理的配慮の内容、相談先
- ・環境調整…風土づくり、学びの保証

#### 事例検討とまとめ

6室のブレイクアウトルーム (小学校1、中学校2、高等学校2、特別支援学校1グループ) に分かれて、事例検討を行いました。各校種に関係する事例について、当事者をどのように理解し、具体的にどのように支援や合理的配慮を行うかの話し合い、全体で簡単に共有しました。

#### 参加者の声

子どもにとって安心できる場を提供したり、相談しようと思える相手なったりできるよう、正確な知識を自分自身が身に付け、子どもからの発信を適切に受け止められる構えを作っていきたいと思いました。

#### 次回研修会 (2022 年度総会 記念講演)

2022 年 5 月 21 日 (土) 18 時半~20 時

「発達障害のある子どもたちへの 医療的支援の最新情報」(米山 明 医師)